

テーマ3

砂漠・牧場の 風土と農耕

受講料無料

受講申込制・定員50名
(先着順・定員になり次第締切らせて頂きます)

同志社大学今出川キャンパス

京都市上京区今出川通り烏丸東入

開演13:30

(開場13:00 全講座共通)

第6回 2008.10.25 (土)

座談会 「シルクロードの農業」

伊藤敏雄・加藤鎌司・窪田順平・佐藤洋一郎

会場：至誠館・23番教室

第7回 2008.11.22 (土)

座談会 「コムギが生まれたころ」

有村誠・丹野研一・森直樹・佐藤洋一郎

会場：未定

第8回 2008.12.20 (土)

座談会 「ムギという植物」

加藤鎌司・河原太八・武田和義・辻本壽

会場：未定

※ テーマ4 「さまざまな栽培植物と農耕の文化」 (予告)

第9回 2009.1.17 (土)	鼎談	さまざまなウリたち	加藤鎌司・田中克典・藤下典之
第10回 2009.2.21 (土)	シンポジウム	日本の南北と栽培植物	阿部純・石川隆二・細谷葵・光田重幸・佐藤洋一郎
第11回 2009.3.14 (土)	座談会	農業と環境	秋道智彌・小山修三・光田重幸・湯本貴和・佐藤洋一郎
第12回 2009.4.18 (土)	講演	ユーラシアの風土と農耕	佐藤洋一郎

※都合により、出演者が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

主催・総合地球環境学研究所プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」

共催・同志社大学理工学部環境システム学科

協力・臨川書店

ユーラシア農耕史 — 風土と農耕の醸成

テーマ3

砂漠・牧場の風土と農耕

広大な砂漠を含む中央アジアから西アジアの乾燥帯と、温帯のヨーロッパにいたるユーラシア西方は、和辻哲郎の風土論では「砂漠（沙漠）」と「牧場」の二つに分けられていました。気候区分からいえばそれは間違いではないのですが、農耕という視点に立てば、稲作を中心とする「モンスーン」に対し、両者にはコムギ・オオムギを主要穀物とし、ヤギやヒツジを家畜とするという共通項があります。テーマ3では、コムギ・オオムギの栽培化から伝播にいたるプロセスやそれらの作物としての特性を扱うとともに、牧畜とセットになった両地域における農耕活動の実態に迫ります。農耕という視点からあらたな風土像が描き出されるかもしれません。

第6回 2008.10.25 (土)

座談会「シルクロードの農業」

伊藤敏雄・加藤鎌司・窪田順平・佐藤洋一郎

第7回 2008.11.22 (土)

座談会「コムギが生まれたころ」

有村誠・丹野研一・森直樹・佐藤洋一郎

第8回 2008.12.20 (土)

座談会「ムギという植物」

河原太八・加藤鎌司・辻本壽・武田和義



※本講座の内容は、臨川書店より『ユーラシア農耕史—風土と農耕の醸成』として各テーマごとに刊行される予定です。

※ 申込方法は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご返信ください。もしくは申込項目をご記入の上、メールにてご返信いただいても結構です。FAX、メールのご使用ができない場合には、お手数ですがお電話か郵送にてお申し込みください。

申込先： 総合地球環境学研究所
プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/>

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

TEL：075-707-2389 FAX：075-707-2508 MAIL：sato@chikyu.ac.jp

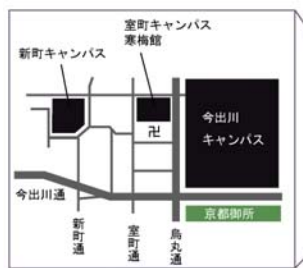


会場：同志社大学・今出川校地

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入
TEL:075-251-3120(代表)

※講座に関してのお問い合わせは、地球研までお願い申し上げます。

- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分
- 京阪「出町柳」駅から徒歩15分



臨川書店 連続公開講座 ユーラシア農耕史

参加申込書

FAX：075-707-2508

ふりがな
お名前

ご同伴の方がいらっしゃる場合には、その方のお名前もご記入ください。

参加ご希望の回にチェックを付けて下さい。

- ☐ 第6回 2008.10.25(土)
- ☐ 第7回 2008.11.22(土)
- ☐ 第8回 2008.12.20(土)

※1回のみのお受講も可能です。

〒
ご住所

TEL

FAX

メールアドレス